



## 「太陽は必ず昇る」

いしかり市民カレッジ運営委員会  
委員長 山田 治己

新型コロナウイルスに翻弄された令和3年度が終わりました。講座も半数が実施できず受講者も483人と激減しました。その中で市民カレッジの受講者が13年間で2万人を超えました。受講者の皆様に感謝しかありません。

令和4年度は、いしかり市民カレッジの新しい旅立ちの年になります。「太陽は必ず昇る」本年度も主催講座・まちの先生企画講座合わせて17講座、43回の講座を企画しました。当カレッジ講座はこれまで多くの講師の先生方から絶賛をいただいておりますが、今回も社会性や時代のニーズ等を勘案した特色ある講座が勢ぞろいしました。新型コロナウイルスの感染収束が読めないなか感染防止対策を徹底しながら講座を実施します。本年度も厳しい状況であることは変わりません。標題の「太陽は必ず昇る」という言葉を信じ、運営委員一丸となって頑張ります。

### 4～6月の講座紹介 本年度も新型コロナ感染防止対策に万全を期します

本年度の講座一覧パンフレットも出来上がり今月からバラエティーに富んだ講座がスタートします。主催講座の座学定員を昨年度同様30名とするなど新型コロナウイルス感染防止対策に努めます。以下は4月から6月に開催を予定している講座の紹介です。皆さんの参加をお待ちしています。

#### 主催講座

#### 講座1「石狩遺産を知ろう」

第1回「石狩遺産認定までの活動」 講師 いしかり砂丘の風資料館学芸員 志賀 健司

日時 4月28日(木) 10:30～12:00 場所 石狩市花川北コミュニティセンター

第2回「石狩遺産の紹介」 講師 石狩遺産プロジェクトM会長 安田 秀司

日時 5月6日(金) 10:30～12:00 場所 石狩市花川北コミュニティセンター

◇市民団体「石狩遺産プロジェクトM」は2016年の活動から11件の「石狩遺産」を認定しています。「石狩遺産」とは何か、そして何をを目指しているのか。石狩市の歴史や文化、自然などの実態と認定された「石狩遺産」ストーリーを学びます。



#### 講座2「私達の身近な野鳥との共生を考える～長きにわたる野鳥観察を通じて見えること～」

第1回「石狩管内における野鳥観察から見えること」 講師 日本野鳥の会札幌支部長 猿子 正彦

日時 5月19日(木) 10:30～12:00 場所 石狩市花川北コミュニティセンター

第2回「身近なカラスの生態をもっと知ろう」 講師 NPO法人札幌カラス研究会代表理事 中村 眞樹子

日時 5月26日(木) 10:30～12:00 場所 石狩市花川北コミュニティセンター

第3回「野外学習 石狩の野鳥を観察しよう」 場所 はまなすの丘公園

ガイド 日本野鳥の会札幌支部長 猿子 正彦

日時 6月2日(木) 9:00～12:00 集合場所 旧石狩市公民館

◇石狩管内で生息する野鳥の魅力や生態を学び、自然界で今起きている様々な変化や人間社会との関わりを知ることから自然保護や人との共生について考え、最も身近なカラスとの付き合い方についても学びます。石狩川が形作った砂嘴状地形にある日本でも稀な海浜植物と野鳥の宝庫「はまなすの丘公園」で野鳥観察会を行います。



#### 市民カレッジデータ

(3月25日現在)

○登録者～144人

○連携団体～104団体



ロゴ制作者

丸山英里子さん

### 講座3 「世界遺産登録となった北海道・北東北の縄文遺跡群」

第1回「世界遺産に認められた縄文遺跡群の価値」講師 北海道環境衛生部縄文世界遺産推進室特別研究員 阿部 千春

日時 5月24日(火) 10:30~12:00 場所 石狩市花川北コミュニティセンター

第2回「縄文遺跡を巡る~北黄金・入江・高砂貝塚~」現地見学

日時 6月7日(火) 8:00~18:00 集合 旧石狩市公民館

◇令和3年7月、北海道・北東北の縄文遺跡群は世界遺産

(文化遺産)に登録されました。縄文人は1万年以上にわたって豊かな自然の恵みを受けながら採集、漁猟、狩猟によって定住生活を続けてきました。命あるすべてのもの、自然への畏敬の念を抱き生活していたと考えられます。世界遺産登録推進に心血を注いできた阿部千春氏に遺産登録の価値や縄文文化への思いなどを語ってもらいます。また、今回登録になった遺跡のうち、北黄金貝塚(伊達市)と入江・高砂貝塚(洞爺湖町)の二つを見学し、縄文文化の魅力を探っていきます。



大船遺跡 復元建物

### 講座4 「国際データ通信網と北海道」 講師 北海道大学北極域研究センター助教 ユハ サウナワラ

第1回「北極圏光海底ケーブル埋設計画とは」 日時 6月14日(火) 10:30~12:00

第2回「北海道の国際データハブ化と石狩」 日時 6月21日(火) 10:30~12:00

第3回「フィンランドと北海道」 日時 6月28日(火) 10:30~12:00

場所 石狩市花川北コミュニティセンター

◇情報需要の高まりによるケーブル網の過密化から、国内外に対応したデータ通信光海底ケーブルの新設と国内の海底ケーブル陸揚地等の開発・整備が急務とされており、石狩市はその陸揚げ候補地の一つとされています。フィンランド人講師による国際的視点からの説明と併せて、フィンランドの歴史、文化、教育、そして北海道との関りについて学びます。



### 講座5 「石狩歴史散歩」

講師 石狩市郷土研究会会長 村山 耀一

第1回「石狩本町地区・八幡地区の碑と歴史の痕跡を訪ねて」

日時 6月18日(土) 9:00~12:30

第2回「樽川地区の碑と了恵寺宝物館を訪ねて」

日時 6月25日(土) 9:00~12:30

集合場所 旧石狩市公民館

◇石狩に長く住んでいる方も、最近越してこられた方も、自分の住んでいる地域の歴史を知る人は、そう多くはないと思います。石狩の碑(いしぶみ)や歴史の痕跡をバスで巡りながら現在に至るまでの変遷を分かりやすく解説します。



了恵寺宝物館

### まちの先生企画講座

#### 講座1 「イチゴを摘んでジャム作り」 講師 萬年 静代

第1回「旬の苺で手作りジャム作り」

日時 6月30日(木) 9:00~13:00

第2回「木苺(ブラックベリー)と青トマトの手作りジャム作り」

日時 9月1日(木) 10:00~13:00

場所 石狩市花川北コミュニティセンター

◇1回目は講師の畑で摘んだイチゴで、2回目はブラックベリーと青トマトで手作りジャムを作ります。作ったジャムはお昼に試食します(軽食あり)。

材料費 各回 500円



## 受講者の声

講座終了時に受講者の皆さんからいただいた感想・ご意見の一部を要約して紹介しています。

この講座は、1/20、1/27、2/3の3回を予定していましたが、1回を終えたところで新型コロナウイルス感染が拡大し、2回目、3回目は中止いたしました。以下は1回目のコメントです。

◇「北海道開拓に貢献した史実に基づき具体的な業績を理解する上で大変参考になりました」「大変興味深いお話でした。一口メモが加わって一層面白さがましました」「コロナ禍で講座があるかどうか心配していましたが、お話を聞くことができ良かったと思います。多くの偉人が北海道開拓に大きな力になって下さった人達で、銅像になっていたわけですが、先の大戦で取りこわされてその後建立されなかった方々がいたことは残念に思いました。いつか像のある所を訪ねてみたいと思いました」



## 令和3年度第23回修了証授与式中止

令和3年度の修了証授与式は3月中の実施に向けて準備を進めておりましたが、新型コロナ・オミクロン株の急激な拡大による感染防止のため中止いたしました。

令和3年度も、コロナ感染対策のため講座の日程変更や中止が相次ぎ、開催講座も人数制限を行うなど講座を楽しみにしていた皆様には大変ご迷惑をおかけしました。そんな中で、所定のスタンプ数を達成され修了証を受証されたカレッジ生の皆さまに敬意を表しますと共に心よりお祝い申し上げます。おめでとうございます。

受証された3人の方には、修了証をお届けいたしました。

### 修了証 受証者

- ◆ 阿部 靖さん                   ドクター2200 修了証
- ◆ 若林真紀子さん               マスター 500 修了証
- ◆ 倉本 嘉裕さん               マスター 500 修了証

## 令和4年度もカレッジ生の更新手続きをお願いします！

### お願い

◇年度会費納入方法は、同封の「年度更新手続きのお願い」でご確認下さい。

◇今年度も多彩な講座を用意して皆さまをお待ちしています。なお、4月からは講座受講料を一般700円、カレッジ生500円(バス使用講座《バス使用回のみ》については一般1,200円、カレッジ生1,000円)に変更させていただきます。

◇メール配信しているカレッジ生のみなさまへ

今月号に限りメール配信に併せて令和4年度講座一覧や振込用紙を同封したあい風通信を郵送しています。なお、カラー版はホームページでもご覧いただけます。

## 楽しい学びを一緒につくりませんか！

講座は、座学のほか見学・体験など多彩



カレッジ生 & ボランティアスタッフ

募集  
しています

写真は令和元年「海浜植物を知ろう！」の講座風景

## チョコっと いしかり学

《19》

石狩遺産について(第7回)

## 石狩遺産は人をつなぎ誇りを生む

石狩遺産プロジェクトM 会長 安田 秀司

石狩遺産はあるテーマに沿って複数の構成資産を紹介しています。これはつまり、あるテーマでのツアー巡回スポットを紹介しているようなものです。例えば 11 号の「弁財船と石狩」での資産を組み合わせると、本町地区の石狩弁天社と石狩八幡神社に訪れ、ついで厚田区古潭にある弁財船投錨地碑と押琴湾を眺めてから厚田神社にお参りし「道の駅」で一服しつつ2階のジオラマ見学、さらに浜益へ足を伸ばし郷土資料館を訪問と、南北に長い石狩全域歴史ドライブツアーが完成します。また、石狩市の大半の人口が集中する花川周辺にお住まいの市民の方々でしたら、車を使わなくても「花畔神社・南線神



社・樽川神社」の3つの神社を繋いで、境内に設置されている記念碑類を意識して学んでいくだけで、「石狩遺産 8号～花川地区の土地利用の変遷」で紹介している構成資産の多くを巡ることができます。

「石狩遺産」を利用して、楽しみながら地元の歴史文化自然を知っていく。石狩市に住む人なら誰でも地元の歴史文化自然は共通の話題となるはず。 「石狩遺産」のホームページでは全遺産の詳しい内容をご覧になれます。ご家族やお友だち、地域の仲間などと一緒に石狩遺産ツアーを話し合ってみませんか？地元ネタで地元の方々と一緒に盛り上がり、地元に誇りを持ってほしい。これが石狩遺産の願いです。

## 石狩の不思議 ～ 不思議な作物「落花生」

節分は終わりましたが節分で活躍する落花生って知ってるようでよく知らない方が多いのではないのでしょうか。マメ科ラッカセイ属の1年草で千葉県が国産の90%を生産しています(自給率は10%程度です)。食品としては乾燥して炒ったものが一般ですが、産地で人気が高いのが「茹で落花生」です。一度食べると病みつきになること請け合いです。石狩でも味わうことが出来るのを知っていましたか。石狩農業を応援する「石狩落花生研究会」では会員を募り、播種から草取り収穫までを専門家の指導の下で市民自らが体験することが出来ます。もちろん料理指導もついていますよ。落花生は南アメリカ原産で生の落花生は「野菜・豆類」乾燥させると「種実類(ナッツ)」と分類が変わる、栄養満点の不思議な食べ物です。ちなみに別名南京豆、英名ピーナッツといひます。



(詳しくは「石狩落花生研究会」HPを参照してください)

《森 幸二》

## 編集後記

高齢者が元気に毎日を送る秘訣は「きょういく」と「きょうよう」、即ち「今日行くべき所がある」「今日すべき用がある」ことだそう。市民カレッジでは今年度も魅力満載の講座を多く開催します。皆さん、受講するためにできるだけ出かけるようにしましょう。また、ボランティアのスタッフになって会議に出席したり、様々な活動を行ったりして用をたすのも元気に過ごす秘訣のひとつかもしれません。(MT)